

曹青通信 第 100 号

いわて

発行者 岩手県曹洞宗青年会

惠津森 哲夫

発行所 岩曹青事務局

〒028-3201 岩手県花巻市大迫町内川目 48-29

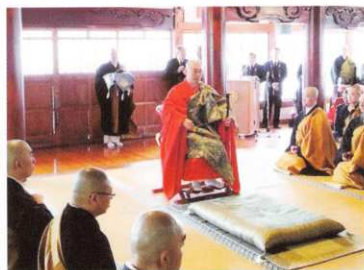
桂林寺内

TEL:0198-48-2020 FAX:0198-48-4040

題字/宗務所長 海野義清老師

編集/事業部 印刷/奥州市 (株)正和印刷

◇3.11 東日本大震災慰霊法要 ◇20期執行部回顧録 ◇教区だより ◇第 2 回教養セミナー/被災地慰霊行脚



3・11 東日本大震災慰霊法要

平成二十八年三月十一日(金)
東日本大震災慰霊法要並びに慰霊
行脚を県内被災地三カ所にて厳修
しました。

あの大震災から五年の月日が経
過。全国的には時間と共に震災の
記憶、防災や災害の意識が風化し
てきていると言われる昨今。被災
地に於いては忘れてたくても忘れら
れない日。三月十一日、午後二時
四十六分に発生した大地震、その
後の津波被害…。

被災地に住む当事者にしかわか
らない悲しみ、悔しさ、苛立ち。
その中にある命の尊さ、感謝や絆
の深さ。震災五年目、ひとつの節
目を迎えたと言われる。一歩また
一歩と踏み出した一足一足を積み
重ね、時間の経過と共に五年の歳
月が過ぎた。震災と共に歩んだ五
年間。これまでもこれからも…。
心の安寧を願う私たちはまた歩み
始める。

合掌

第 7、8、9、10 教区

常楽寺(釜石市)復興祈願法要 / 江岸寺(大槌町)慰霊法要～慰霊行脚

◇第 1、3、11、12 教区

常楽寺(釜石市)復興祈願法要 / 龍泉寺(山田町)「活動の灯」前にて諷経
本堂にて略歎佛～黙禱～御詠歌～行茶(茶話会)

◇第 2、4、5、6 教区

吉祥寺(大槌町)慰霊法要～慰霊行脚～吉里吉里海岸にて慰霊法要

◇20期執行部回顧録

▽岩曹青会長 惠津森 哲夫

平成二十六年四月岩手県曹洞宗青年会二十期会長の任にあたることになり、不安と責任の重さをひしひしと感じながらのスタートでありました。執行部、各部の部長をお願いするのには岩曹青の名簿を見る時間が多くありました。お願いの声をかけるとみなさん、「私で良ければお手伝いします」と良いお返事をすぐにいただきました。本当に感謝しております。

安心したのも束の間、東北大会の開催県となる翌年を控え準備委員会を設けるに準備委員長と事務局を選任しなければなりませんでしたが、顧問老師にご助言を頂き事務局案として成島伸龍兄を準備委員長に西川友法兄を準備委員事務局にご推薦申し上げ承認されました。よいよ本当のスタートラインにたつことになり、激動の二年間が始まりました。

各行事にあたるのに、各部長 副部長の尽力のもと理事、代議員さんに会員のとりまとめを頂き、ひとつひとつを会員一人一人の協力と気持ちでスムーズに進めることが出来ましたこと、その場面その場面で臨機に対応頂き私を助けて頂きましたこと本当に感謝いたしております。

東北大会では県内御寺院様にたくさんのご協賛を賜りおかげさまで大圓成することが出来ました。四十回の節目の大会そして岩曹青創立四十周年をむかえた時に会長として勤め

させていただきました仏縁を大切に、これからも精進してまいりたいと思います。歴代顧問老師の支えと会員各位の励ましで任期を勤め終えることができました。本当にありがとうございます。



▽副会長 齊藤 昌久

岩手県曹洞宗青年会第二十期(四十年)の節目にあたり、「曹青通信『いわて』第一〇〇号」が発行されますことに、当会副会長として私は、大いに喜びを感じ得ると同時に、多くの御寺院様並びに、紙面援助賜りました多数の企業のみなさまに御礼申し上げます。

ひと言で四十年、一〇〇号とは言ってみても、改めて想えば、ここに携わった諸先輩の努力と、月日の積み重ねと、歴史の深みを実感致します。思い返すと、私は、当会十一期よりはじめて青年会行事に参加させていただいて以来、会計、事務局、その他諸々の役職を経て、現在副会長の役職を拝命しておりますが、果たしてキチンと会長を補佐することが出来たであろうかと、反省するばかりです。とはいえ、今期執行部の最大の行事であった当会四十周年記念事業として開催した東北大

永代供養・寺院仏具

永代供養墓のお勧め
納入実績 全国各地 御寺院
200ヶ寺以上

▼詳しくはお問い合わせ下さい▼

文化の香りをお届けする

株式会社 宗像

〒020-0143 岩手県盛岡市上厨川字新田 92-8
盛岡 TEL 019-648-0099 FAX 019-648-0167

〒358-0024 埼玉県入間市板岸 3-4 番地 1
TEL 04-2934-7020 FAX 04-2934-7066

<http://www.munakata-web.co.jp> E-mail: info@munakata-web.co.jp

ココロ花咲く、ステキな旅を。

お客様満足率 100%+α を追求するサービスマインド。

お客様の立場になる「想像力」、アスファルトを走る「創造力」、55年の実績と豊富な情報力を駆使して

商品群、高付加価値の商品とサービスを提供するトプツアー株式会社。

私たちは、旅を通じて新しい出会いと感動を生み出す「旅行インテリジェンス企業」です。

55年の実績と豊富な情報力で旅をクリエイティブする

トプツアー株式会社 盛岡支店

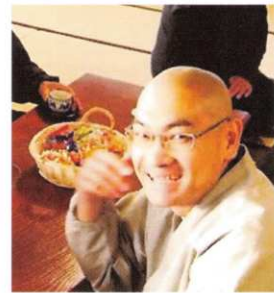
〒020-0022 岩手県盛岡市大通 1-11-13 盛岡フコク生命大通ビル 6 階
TEL: 019-651-8800 FAX: 019-653-2093 <http://www.toptour.co.jp>

会が盛会のうちに終えられましたことには胸を撫で下ろしているとともに、微力ながら携わることが出来ましたことに誇りと光栄と感謝の気持ちでおります。そして、当会総ての会員諸師の協力と、県内御寺院様の寛大なる御支援に厚く御礼申し上げます。おわりに、さらなる岩手県曹青青年会の活躍を祈るとともに、将来、「曹青通信『いわて』二〇〇号」が無事に発行されますことを期待します。

▽副会長 石ヶ森 桂山

有難くもお声がけを頂戴しながら、想い起せば只々大きな器の船に乗せていただいた二年であつたなと思います。緑蔭禅の集いに始まり、あの時以来各地を回り続けて頂いている被災地慰霊行脚、追悼復興祈願法要、行茶傾聴も御座いました。大きな筋目となった東北大会、並びに岩曹青創立記念行事、起つてしまった災害への対応等々、其のどれも常に謙虚明晰にして冷静沈着な判断と決断実行に依るものでありました。お側で学ばせて頂く事ばかり、全く器の大きな大先輩と、一生懸命な諸宗師の大船に只々感謝して乗せて頂きました。成すべき事、語るべき事、寄り添うべき事、其のどれも又、確かな道心と日々の在り方に裏打ちされた大先輩方と諸宗師方に依る和合丸の大航海であつたと思います。執行部、岩曹青会員諸宗師、顧問諸老師、皆々様に感謝と御礼を申し上げます。有難う御座

いました。



▽事務局長 佐々木 瑞岳

二十期惠津森哲夫会長のもと、事務局を仰せつかり二年間活動させていただきました。振り返れば、通常の行事に加え今期は当会発足四十周年の節目の年に「四十周年記念事業」「東北大会」の開催と大事業が行われました。会長を先頭に準備委員長、準備委員、会員の皆様のすばらしい結束のもと、盛会に終わることができました。また、東日本大震災被災地における慰霊行脚、追悼法要は段々と復興に向けて変わる景色の中、まだまだ癒えぬ深い悲しみを感じました。今後も被災された方々に寄り添い続けて行きたいと思っております。最後に、力不足の事務局でしたが、会長はじめ会員皆様の御協力により務めさせていただきました。心より感謝申し上げます。特に各教区の理事には、毎月のように出欠の取りまとめなど、事務局へのお力添えを頂きましたことを、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



— けんぼくかんこう —
株式会社 岩手県北観光

株式会社 ジェイティービー特定パートナー店

[本社] 盛岡
[支店] 宮古駅前、北岩手、久慈、東京
[代理業] 岩手県北バス

盛岡市厨川1丁目17-18 〒020-0124
TEL : 019 (641) 8811 本社
019 (613) 2655 仏教旅行サービス部
FAX : 019 (641) 8844
URL: <http://www.kenpokukanko.co.jp/>

大本山御用達

御法衣



京仏具

創業1915年

株式会社 松本屋

梅花流法具指定販売店



加盟店

電話 075(343)1200(代表) FAX 075(371)4080
e mail : kyoto@matsumotoya.com URL : <http://www.matsumotoya.com>

▽事務局次長 岩館 道宏

岩手県曹青青年会 第二十期事務局次長を仰せつかっていた、第五教区観音寺副住職岩館道宏でございます。事務局次長とは基本的に事務局長さんを補佐する役ですが、今の岩曹青の事務局次長は岩曹青で製作された「聞いてわかる檀信徒法要回向集」の頒布担当も兼ねております。

私は正直、二年前に事務局次長に就任するまで岩曹青の活動には余り積極的ではありませんでした。しかし、役に就いてからは自覚が芽生え、都合のつかない時以外は全て行事に参加させていただきました。実際参加するとたくさんの方と交流することができました。また、回向集頒布にしても、全国から注文がインターネットを通して入りますので、こちらの方でも全国の方と交流することができました。私はこの二年間、事務局次長を通して人生において非常に貴重な経験をさせていただきました。皆さまありがとうございます。



▽会計 番澤 俊裕

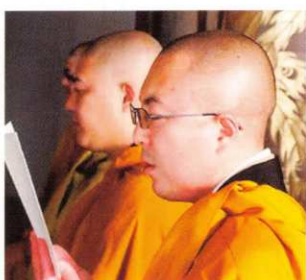
春の訪れとともに、新旧入れ替わる時節となりました。震災から五年目を迎え、各地で法要、行脚が行われました。早いもので二年の月日が流れ、二十期執行部を終えようとしています。恵津森会長より会計の任を承り、皆様からの御指導を頂き、無事務める事が出来ました。本年度は四十回目の節目となります東北大会が開催され、執行部一丸となり、無事圓成されました。準備委員会会計の補佐にあたり、一年前からの準備に携わり、沢山の事を学ばせて頂きました。皆様方には御迷惑をおかけしましたが、無事に会計の任を全うする事が出来ました事、大変ありがたく存じます。最後になりましたが、岩手県曹青青年会の益々の発展、会員皆様の寺門興隆、身体堅固、更には東日本大震災早期復旧、復興をお祈り申し上げます、御礼申し上げます。

▽研修部部长 鈴木 道将

第二十期研修部長を微力ながら務めさせて頂きました七教区長泉院の鈴木道将です。研修部は「みちのく緑蔭禅のつどい」の担当です。研修部長として緑蔭禅に随喜することによって様々な事を学ぶ事ができました。とくに昨年の緑蔭禅は第五十回という節目を迎えるにあたり頭を抱えていました。しかし恵津森会長の「五十回目という事で特別な事をするのではなく淡々といっ

もと同じように行持することが大事だ」という言葉を聴き、何か特別な事をしなければと考えていた私はハッとしました。これまでの緑蔭禅の継続が岩曹青諸先輩方の歴史であり、会員皆様が協力し全力で行持をこなしていく事が伝統であると気がつきました。そして私たちも五十回目の緑蔭禅を無事に圓成することができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

結びに会長老師はじめ会員皆様のご健勝と岩曹青の益々のご発展を祈念いたします。



▽布教部部长 糸坪 龍道

平成二十八年も早春を迎え、東日本震災発生から五年の月日が経ちました。岩手県曹青青年会各位におかれましては、法務等お忙しい中、県内各地より慰霊行脚、慰霊法要等の活動に御参加賜りました事、感謝申し上げますと共に、さらには当諸行持を修行するにあたり、会場提供を下さいました各御寺院様には心温まるおもてなしまで頂きましたこと、衷心より御礼申し上げます。

この度の布教部の活動において、特にも

僧侶として行脚をしている時に、わざわざ手を合わせて下さった数多くの地域の皆様この姿を見て、小さな「行」かもしれませんがこの先も絶えなく、心安んじるまで続けていく事が大事な「行」だと感じました。最後になりましたが、間もなく二年の任期を終えようとしておりますが、岩曹青事務局、布教部の皆様の支え無しには務めを果たす事が出来ませんでした。改めて感謝致します。

▽組織部部长 菊池 和康

組織部として二十期では、通例として任期最終年度に発行していただきました会員名簿を初年度に発行いたしました。今までと違い、早期の発行となったため各教区の理事・代議員の皆様には慌しく確認作業をおこなっていただきましたが、結果としていち早く、現執行部の組織名簿や新会員の追加等を会員の皆様にお伝えできたのではないかと考えております。理事・代議員の皆様ご協力誠にありがとうございます。

また最終年度には、東日本大震災における支援活動についての座談会を開催いたしました。当時の様子や、今後の活動についての報告がなされる中で、このような集まりを定期的に開いてほしいとの意見もありました。

震災の活動にとどまらず、こういった場を持つことの必要性を感じておりますので、次期執行部にも継続をお願い申し上げます。

て、今季の組織部総括といたします。



▽事業部部长 千枝 宗貴

『曹青通信いわて』一〇〇号発行。節目となる記念号の編集に携わることが出来ました事は事業部一同光栄の至りに存じます。これも偏に皆様方の御力添えあって事と感謝申し上げます。

二年の任期。振り返れば「光陰矢の如し」でした。右も左も分からぬまま事業部長の役を引き受け、広報誌である曹青通信の発行、ホームページの編集と慣れぬ作業に四苦八苦。日々の忙しさに加え「明日があるさ」の性格が災いし、発行や更新が遅れ皆様に御迷惑をお掛けしました事をこの場を借りてお詫び申し上げます。

課題として、特にホームページの編集更新は特殊技能と時間が必要であると感じました。今いまの情報伝達共有するにはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などの利用を考えるのも良案と思います。今後の岩曹青、事業部の活動の参考として頂ければ幸いです。

▽全曹青出向 日向 真学

前期より引き続き全曹青に出向させて頂いております。三教区福蔵寺副住職日向真学と申します。

全曹青では各委員会で制作された頒布品の管理や、研修会等の立案運営のお手伝いをさせて頂いております。また、岩曹青よりの出向と言う事で復興支援にも関わらせて頂いております。様々な場面で復興支援活動の紹介させて頂くと多くの支援の声を頂き、全国の皆さんの形は違えども復興への願いは一つと思いを改めて感じると共に、今後ともしっかりとした情報の発信の重要性も感じました。来年には震災七回忌を迎えます。様々な行事が有る中、全曹と岩曹の橋渡しがしっかりとできますよう頑張りたいと思います。

残り任期一年、岩曹青よりの出向で有る事を肝に命じ、全曹青の発展のために精進して参りたいと思います。



◇ 教区だより

一 教 区

第一教区では、昨年六月に矢巾町高傳寺住職に高田恭寛師が着任されました。曹洞宗布教師養成所には、矢巾町實相寺住職晴山弘俊師が入所いたしております。

近年、現代社会において寺院のあり方が多様化・問題視されるなかで、仏祖伝来の正法を後世に伝えることを一大事と考え、青年会では、毎月一度の法要法式を丁寧に行う事を青年宗侶が全力で取り組んでおり、その成果は、各自坊・師寮寺において僧侶としての人格形成に繋がっていると思います。

来年度からは、第一教区理事に盛岡市龍谷寺副住職上舘文隆師。代議員に矢巾町高傳寺住職高田恭寛師に引き継ぎまして、益々の岩曹青の発展に努めて参りたいと思います。

二 教 区

去る十月十九日、蟠龍寺様にて両祖忌法要・教区特派布教、教区護持会総会が厳修されました。

十一月六日・七日、中興寺様において開山忌・先住忌法要が厳修されました。

今年度は東北大会において教区の正会員、賛助会員の方々から沢山のご協力をいただき、この場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

◎新会員

紫波町高金寺徒弟、堰合俊介師が新たに

岩曹青会員となりました。今後の活躍をご期待します。

三 教 区

九月二十九日に一戸町の廣全寺様を会場と致しまして、両祖忌の法要が厳修されました。

四 教 区

三月十八日 宗青寺様結制法要
五月二十五日～二十六日 松山寺様両祖忌法要

十月五日～六日 歎喜寺様両祖忌法要

十一月十四日～十五日 正覚寺様晋山結制法要

十一月二十八日 永明寺様 上野興庸師結婚式

五 教 区

第五教区青年部の平成二十七年年度の活動報告をさせていただきます。

四月八日降誕会、年が明けて二月十五日涅槃会を、岩谷堂光明寺様の山門法要に研修会というかたちで随喜させていただきました。これは毎年行っており、その都度配役を変えて研鑽を積んでおります。

今年度の教区托鉢は五教区が担当でした。我々第五教区青年部といたしましては、光明寺様を会場にお借りいたしました皆さまをお迎え致しました。その後の懇親会では場所を水沢区に移し、会員の皆様と懇親を深めさせていただきました。

第五教区から岩曹青に新会員入会です。米里自徳寺住職、躑躅森大康師です。平成

二十八年度から正式に活動に参加されると思いますので皆さま何卒宜しくお願い申し上げます。

六 教 区

四月十九日～二十日

安養寺晋山結制式

新命 瀧澤邦仁老師

首座 阿部哲哉上座

五月三日

水沢大林寺結婚披露宴

新郎 豊田祥真／新婦 由里子

六月十三日

泰養寺晋山式 新命 渡邊善幸老師

六月十四日

正法寺にて「禅をさく会」開催

七月十五日～十六日

耕雲院二十三世中興溪雲静光大和尚本葬儀

九月五日～六日

水沢大林寺晋山結制式

新命 豊田祥真老師

首座 菊地浄元上座

十月十八日 泰養寺徒弟結婚披露宴

新郎 渡邊泰幸／新婦 佳美

十月二十四日～二十五日

慈眼寺晋山式 新命 千枝宗貴和尚

十二月十日～十一日

法雲寺十八世中興教法泰憲大和尚本葬儀

◎新会員 阿部哲哉（安養寺徒弟）

七 教 区

平成二十七年七教区行持報告。昨年七月十七日にご遷化された長泉寺東堂小岩素仁老師の本葬の儀が四月一日に執り行われました。

四月二日、光西寺東堂本田達雄老師が世寿九十二歳にてご遷化されました。五月二十日に本葬の儀が執り行われました。四月二十九日、瑞川寺寺族、齊藤弘子様が世寿七十五歳にてご逝去されました。五月四日に葬儀が執り行われました。

五月二日、長壽寺先住秋元乙由老師が世寿八十七歳にてご遷化されました。

七月二十二日、圓満寺東堂渡邊英雄老師が世寿八十八歳にてご遷化されました。

十一月十七日、七教区禅興会設立四十周年記念行事といたしまして、「3・11その先へ」ずっと祈ります」と題して、一関文化センターを会場に、宮城県徳本寺御住職、早坂文明老師の記念講演を賜り、シンガーソングライターのやなせなさんの復興ライブが行われました。

八 教 区

六月十四日・十五日に長昌寺様にて「二十五世中興龍眼圭介大和尚本葬儀」「二十六世大雲圭石和尚晋山結制式」「先々住忌・先住忌」法要が厳修されました。

十月一日・二日に保壽寺様にて「庫裡落慶法要」「二十五世達眼大全大和尚本葬儀」「先々住忌・先住忌」法要が厳修されました。

十月十七日・十八日に善龍寺様にて「二十九世竹内弘道和尚晋山式」「諸堂落慶法

要」「二十八世悦傳文隆大和尚本葬儀」の法要が厳修されました。

七月三十日・三十一日には、今年で三十一回目となる毎年恒例の行持である「禅のつどい」を行いました。

九 教 区

十二月十日に岩曹青主催東日本大震災被災地慰霊行脚が大船渡市三陸町長林寺を会場に開催されました。また十二月十四日には第九教区青年会主催成道会並びに震災物故者慰霊法要を陸前高田市延命寺様にて修行了しました。いずれの法要にも多くの青年僧のご随喜を賜りました。

十 教 区

第十教区では今年度、大慈寺・菊池琢宗師を新会員に迎えました。行持報告と致しましては、五月六日に釜石大観音様を会場に京都府清水寺森清範貫主導師による復興祈願法要並びに震災犠牲者慰霊法要が厳修されました。

六月七日には常楽寺様に於きまして、御導師に大本山永平寺福山諦法大禪師猊下、報恩寺御住職天藤全孝老師をお迎えし、本堂・庫裡落慶法要並びに檀信徒総回向・東日本大震災追悼供養が厳修されました。

十一月十五、十六日には、吉祥寺様に於きまして、開山四百年記念式典並びに歴住報恩諷経が厳修されました。

十二月六日、柳玄寺住職阿部光文老師が御遷化されました。同月十日にお逮夜、十一日に密葬儀が厳修されました。平成二十八年十一月に本葬儀が執り行われる予定です。

岩曹青教区懇親会として九月三十日、釜石大観音様を会場に東日本大震災物故者供養・震災支援に関する座談会を行いました。三月四日には、石應禪寺様を会場に普通救命講習を行いました。

十一 教 区

第十一教区行事としましては九月二十六日・二十七日、宮古市蛸ノ浜町、心公院様を会場に、両祖忌法要が厳修されました。

十月十一日には、宮古市津軽石、瑞雲寺様を会場に大遠忌法要が厳修されました。

教区青年会としましては、七月二十九日・三十日、宮古市津軽石、瑞雲寺様を会場に「夏休み子供坐禅会」が行われました。

また、十二月一日には、宮古市沢田、常安寺様を会場に歳末助け合い托鉢を修行致しました。

十二 教 区

十二教区青年会（十二日会）に於いては、野田村への慰霊行脚を毎月十一日に継続しております。（都合がつかない場合は日程を変更して活動しています。）

四月 長泉寺様龍神講法要

六月 特派梅花会場寺院様への開講式随喜

十月 特派布教会場寺院様への開講式随喜
並びに峨山禪師六百五十回大遠忌法要

千手寺様恒期法要

二月 柳善院様祈禱会法要

三月 十二日会総会並びに大般若法要

以上、十二教区青年会の活動報告を申し上げます。

▼第二回教養セミナー「ヨガ体験」

今年度、第二回目となる教養セミナーは講師にヨガインストラクターの柴田恵理子先生を迎え「ヨガ体験」を行いました。柴田先生は先天性の骨の異常を治療するため二度の手術、二カ月の入院、退院半年間の流動食生活後ヨガと出会い、ヨガのおかげで体力がつき通常の生活が出来るようになったそうです。

ヨガは古代インドに発祥した伝統的な宗教的修行法であり、心身の鍛錬や精神の統一が目的でもあります。坐法や瞑想は仏教にも取り入れられ坐禅となったとも言われます。近年ではフィットネスやエクササイズ要素のヨガが流行し、寺院でのヨガ教室なども開催され注目されています。

参加者一同、柴田先生の熱心な指導を受けながら心地好い汗をかきました。加齢と共に身体は固くなり、体力の衰えを感じる方にはヨガは最適な運動法。坐禅修行との組み合わせは多様な可能性を感じたセミナーでありました。



<心身鍛練、精神統一>



<バランス感覚も必要>

東日本大震災被災地慰霊行脚

大震災以降継続し行っている被災地慰霊行脚。今年度も山田町の龍泉寺様、釜石市の石應禅寺様、大船渡市の長林寺様、陸前高田市の光照寺様を会場に会員皆様のご支援ご協力頂き無事修行することが出来ましたこと感謝申し上げます。法務御多端の中、たくさんの方の御参加有難うございました。



〒610-104 京都市西京区大枝中山向2番地348
TEL.076-335-3737 FAX.076-335-3020

法衣全般の事なら、お任せください。
新調から、クリーニング・修理まで

草桶
KUSAOKE

0120-88-3992

有限会社 草桶法衣仏具店

www.kusaoke.jp

平成27年度 岩曹青 被災地慰霊行脚 記録			
27年 5 月 6 日	釜石市 石應禅寺	17名参加	※応援プロジェクト「縁」企画
27年 6 月 11 日	山田町 龍泉寺	14名参加	
27年 9 月 30 日	釜石市 石應禅寺	16名参加	※慰霊法要、復興祈願法要
27年 12 月 10 日	大船渡市 長林寺	14名参加	
28年 2 月 5 日	陸前高田市 光照寺	13名参加	